

根面被覆～歯肉結合組織移植術～

根面被覆とは？

露出してしまった歯の根を移植した歯肉で覆う外科治療を「根面被覆」といいます。歯肉をお口のなかの別の場所から採取したり隣の歯肉から移動させます。

根面被覆が必要な方

- ・不適切なブラッシング圧や矯正治療などにより歯肉が下がって歯の根が露出している方
- ・歯が長くなり見た目が悪いと感じている方
- ・歯がしみる方(知覚過敏)
- ・今後、歯肉退縮が懸念される方

歯根が露出する原因は？

- ・あごの骨に対する歯の位置関係
- ・歯肉やあごの骨の厚さが薄い
- ・ブラッシング圧が強い

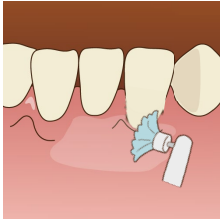
歯根の露出を放置するとどうなるのか

- ・歯根部分はセメント質といって非常に脆弱な部分になっています。セメント質は簡単な刺激で崩壊し、中の象牙質が露出してしまうことによってより削れやすくなり、むし歯にもなりやすくなります。

治療の流れ

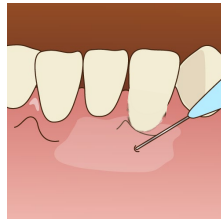
まずは先生に相談

根面の清掃



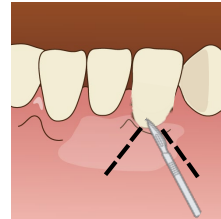
細菌のかたまりであるプラークは治癒を妨げますので、根面からプラークをしっかりと除去します。CR(虫歯治療のつめもの)も除去して治療を開始します。

麻酔



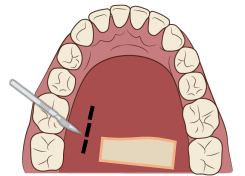
歯肉を切開する部位や移植組織を採取する部位(主に口蓋)に局所麻酔をします。

歯ぐきの切開



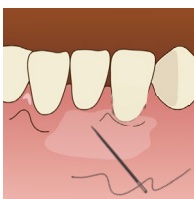
どのように覆うかを想定して、根面の周りの歯肉を切開します。

移植組織の採取



口蓋の粘膜を切開して移植する組織を切り取ります。

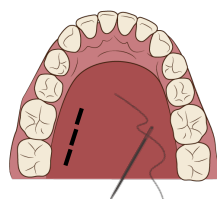
根面の被覆と縫合



切開した歯肉に移植組織を挿入して、口蓋も縫合します。

約1週間後

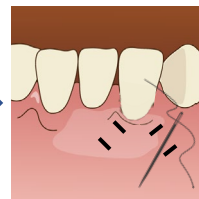
口蓋の抜糸



口蓋の傷がふさがったら糸を抜きます。

約1週間後

抜糸



移植側の傷がふさがったら糸を抜きます。

経過観察へ